



## 「かゆいところに手が届く」運用サービスでお客さまに貢献

大分センターは、県庁や市役所など地域行政の中枢と隣接した街の中心部に位置します。九州で2カ所目の拠点として昭和58年4月に開所して以来、国民健康保険団体連合会の電算処理業務を柱に事業を行っており、この4月にはおかげさまで設立30周年を迎えます。

国民健康保険の運用を専門とする大分センターは、システムの運用・保守に加え、アプリケーション開発、ネットワーク構築、レセプトデータエントリーなど、お客さまのあらゆる業務に関わる統合的なITサービスを提供しています。

安定した電算処理業務を行うには、ハードウェアやネットワークに関する知識・技術などITスペシャリストとしての能力とともに、制度改正に伴ってシステムや運用を変更するための幅広い業務知識が必要です。そのため、インテックおよびインテックソリューションパワー、ウィズインテックの約40名のメンバーは、法令や国保中央会からの情報収集、現場の少人数チームでの勉強会などを通



所長  
鶴澤 聖  
つるさわ きよし

じて業務知識を深め、常にお客さまのご要望にお応えできるよう日々研鑽に努めております。

今後も、安定・安心の運用サービスを継続して提供し続けるため、「お客さまのかゆいところに手が届く大分センター」を目指し、自らの仕事に自信と誇りと喜びを持ちつつ、お客さまの発展を支えてまいります。



新しくなったJR大分駅



湯けむり上がる別府の街



別府大分毎日マラソン 毎年、給水ボランティアをしています。

2012年春のJR大分駅のリニューアルを皮切りに、大分では駅前の大規模商業施設の新設など再開発が進められています。また、大分トリニータがJ1昇格を決め、街中が大変盛り上がっています。大分の魅力は温泉だけではなく、ぜひ大分にいらしてください。